

告示	番号	62	悪性新生物
	疾病名	脊索腫	

脊索腫

せきさくしゅ

概要・定義

胎児期の脊索に由来する腫瘍で、粘液状基質が豊富で空胞状細胞が巣状配列を呈し、腫瘍周囲の局所を破壊性に発育する特徴を持つ。

症状

頭蓋底部正中の斜台やトルコ鞍部に発生して、周囲を破壊性に発育し、脳神経障害など局所症状を呈する。脊椎では仙骨部に発生する場合がある。

治療

摘出が第一選択である。腫瘍を全摘出しないと再発し、周囲組織に浸潤性に発育する。残存腫瘍に対し、また再発時に放射線治療を行うが、有効性は確定していない。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/1_6_84.html